

独立行政法人日本学術振興会・公益社団法人日本工学アカデミー
2015 年度 日豪若手研究者交流促進事業
(Australia-Japan Emerging Research Leaders Exchange Program)

参加者募集要項

2015 年 2 月 20 日
公益社団法人日本工学アカデミー

1. 趣旨と事業概要

本事業は、平成 20 年になされた日豪政府間合意に基づき具体化したもので、日豪両国が協力して次世代研究リーダーを育成するための交流事業です。

豪州側は豪州理工学アカデミー(ATSE: Australian Academy of Technological Sciences and Engineering)が、日本側は独立行政法人日本学術振興会と公益社団法人日本工学アカデミーが共同でプログラムの実施にあたります。

それぞれの国で将来研究リーダーとなるような人材を所定人数(4. に記載)、予め定められた研究分野(今回は2. に記載した4分野)から選び、相互に派遣します。派遣された研究者は2週間程度相手国に滞在し、その間に当該分野における研究機関を複数訪問し、分野を代表するような優れた研究者と接することにより、相手国における研究状況等の理解を深め、リーダーとしての資質を磨くとともに、将来日豪間で共同研究の実施や学術シンポジウムの開催などを実施するための人的ネットワークを形成しようとするものです。

過去3回の実施では、日豪総計47名の研究者が相手国を訪問し、期待どおりの成果を挙げつつあります。

本参加者募集要項は上記趣旨に沿って、日本から豪州へ派遣する研究者を公募するためのものです。この要項に従って申請書を期限までに提出された方の中から派遣者を選定します。

2. 対象研究分野

下記の4分野を対象とすることが両国間で合意されています。

- A Technologies for the promotion of healthy ageing and wellbeing
- B New Materials, Biotechnology and Nanotechnology
- C Emerging power systems in the changing environment and the needs of the power system transition process
- D Capturing the benefits of ICT

3. 申請資格

次の各号の条件を満たす者とします。

- 1) 日本国籍を持つ者または我が国に永住を許可されている外国人であって、我が国の学術研究機関等*に所属し、常勤または常勤として位置づけられている研究者であること。

* 我が国の学術研究機関等:

- ① 大学、大学共同利用機関、短期大学、高等専門学校
- ② 国公立試験研究機関等
- ③ 学術研究・研究開発活動を行う独立行政法人、特殊法人、政府出資法人、一般/公益財団法人、一般/公益社団法人
- ④ 民間研究機関

- 2) すでに顕著な研究成果をあげ、将来研究リーダーとして成長することを本人が意図し、また周囲からも期待されている研究者であること。所属機関での意思決定に関わる立場であることが望ましいため、年齢は 35 歳～45 歳程度を一つの目安としますが、必ずしも絶対的なものではありません。
- 3) 豪州側研究者等と研究内容等に係る幅広い議論を行えるに足る、十分な英語コミュニケーション能力を有すること。

4. 派遣予定数

8 名以内。一つの研究機関から最大 3 名までとします。

5. 派遣期間

日本から豪州への派遣は、現時点では平成 27 年 10 月 17 日(出発)～10 月 31 日(帰国)の 2 週間程度を予定していますが、諸般の事情により多少の変更が生じる可能性もあります。なお原則として派遣者全員が同じ出発便・帰国便を利用するものとします。

6. 費用負担

渡航に伴う国際航空運賃及び所属機関から最寄りの国際空港までの国内旅費、ビザ取得費用は、日本学術振興会がその規程に従って支給します。豪州国内における移動旅費及び滞在費(宿泊費を含む)は、豪州理工学アカデミーがその規程に従って支給します。

7. 申請手続

申請受付やその後の諸手続は、日本工学アカデミーが担当いたします。所定の申請書様式に記入要領を参照して必要事項を記入し、正本 1 部、コピー(副本)5 部を日本工学アカデミー事務局(〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 4F)あてにお送りください。

申請締切は、平成 27 年 5 月 7 日(木)必着とします。

8. 選考方法と決定通知

日本工学アカデミーに設置する選考委員会が別途定める選考基準に従って選考し、日本学術振興会と協議の上、決定します。選考結果は 6 月中旬に申請者全員に通知されます。

なお、選考委員名は派遣者決定までは公表されません。

9. 派遣決定後の準備

派遣が決定した方には、6 月中旬以降、豪州における訪問先などとの調整や渡航に関する諸手続きなど、日本工学アカデミーと豪州理工学アカデミーが連携して、派遣者と連絡をとりつつ準備にあたります。

10. 豪州国内での行動

現地では、最初にオリエンテーションと最後に報告会があり、この 2 つは全員が揃って参加します。それ以外は派遣者がそれぞれ事前に合意した訪問プログラムに従って行動します。単独で行動する場合もあれば、同じ分野の派遣者数名が同行動をとる場合もありますが、単なる施設見学だけではなく、それぞれの研究機関における著名な研究者と親しく話す機会を設けることを特徴としています。

想定されるスケジュールの例を下に示しますが、これは一例に過ぎず、派遣者や受け入れ先の事情により、変更になる可能性があります。

第0日(土)夜 日本発
第1日(日)午前 豪州着
第2日(月)午前 オリエンテーション(全員参加)
第3日(火)～第11日(木)午前 派遣者の希望に沿って研究機関を訪問
第11日(木)午後 訪問成果をまとめ、報告会に使用するパワーポイント資料を作成
第12日(金)午前 報告会(全員参加)
第12日(金)夜 豪州発 → 第13日(土)午前 日本着

11. 帰国後の報告等

帰国後2週間以内に報告書、経費支出明細書などを提出していただきますが、これらの書式等については後日提示します。また帰国後には報告会を開催する予定で、それぞれの活動内容、成果、所感、今後の運営に対する提案などをご報告願います。加えて、事業実施後、経験者としての会議等への参加依頼や定期的な追跡調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

12. 参考情報

豪州における受け入れ研究機関リストを参考資料として添付します。ただしこれらの研究機関への受け入れがすべて保証されているわけではありませんので、ご承知おきください。

本件に関するお問い合わせ先：公益社団法人日本工学アカデミー事務局
〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 4F
E-mail: academy@ej.or.jp Tel: 03-5442-0481 Fax: 03-5442-0485